

2025年度 第1回 業務・広報委員会 議事録

1. 日時: 2025年4月3日(木) 15:00~17:00
2. 場所: (一社)日本木造住宅産業協会6F会議室とオンライン
3. 出席者: 14名(内WEB参加3名) 委任状0名 計14名 ※定足数以上

【リアル出席】

村岡照生(住友林業)・片平貢丈(ポラス)・藤井達矢(一条工務店)・芳山由香(AQ Group)
石渡玉枝(エヌ・シー・エヌ)・白木由莉(住友林業)・昆克実(日本住環境)・梅原理恵(ナイス)
森 千尋(新任ナイス)・富樫昌生(ミサワホーム)・上田学二(三協立山)

【WEB参加】

西野安則(パナソニックホームズ)・塩崎亜里沙(BXカネシン)・藤林貴則(ヤマト住建)

【委任状】

【オブザーバー】

【事務局】

桜井稔子・窪田千香・高嶋健司・宮波和幸

【欠席者】

丸岡 淳(ポラス)・釣本篤司(日本住環境)・堀内国土(AQ Group)・
小長谷一樹(日本ハウスホールディングス)

※以上、敬称略

■ 審議事項

1. 第28回「木のある暮らし」作文コンクール 応募チラシ 審議資料1ー①

【事務局】

添付資料のチラシの最終案について説明。本日の議論・ご意見取り入れて印刷する旨を説明。
説明のポイントとして

- ・「審査員(著名なはせがわ先生・南雲先生)」の画像を活用(了承済み)。
- ・「募集方法」を明示(郵送・メール・Googleフォーム)。
- ・文字数標記を「200字~1200字程度」と明記。
- ・記載の「作文テーマ」への意見を依頼。
- ・作文に「自由な発想の内容」(フィクションでも)を期待していることを報告。

【委員】

- ・Googleフォームへのアクセス方法がわからない。
⇒QR「木のある暮らし作文コンクール」の見出しを「応募方法はこちら」に修正して対応。
- ・テーマについては「まわりにある木のことを作文にしてみよう!」に設定して、「例えば」として色々な切り口を整理してはどうか?
- ・例えを限定的に捉えられると広がりが無くなるので、「自由なテーマで」と広がりを感ぜさせる文言を入れた方がよい。
- ・「例えば」の中身は3つぐらいに絞った方がよいのでは? いっぱいあると埋もれてしまうのでは?
- ・去年の折り込みパンフレットに記載されたイラストは今回ないが、確認できるのか?
⇒今年度はホームページで見ただけのようにします。
- ・漢字のルビの有無や位置など最終確認が必要。

※上記のご意見を反映した内容にてチラシを印刷することで了承をいただいた。

2. 「2025年度(2024年度分)木住協自主統計調査」調査項目 審議資料2ー①, ②, ③

【事務局】

前回第10回の報告・説明した内容にて審議を依頼。前回からの修正は無く、「平屋(戸数)」「非住宅(棟数)」を追加したアンケート内容。

【委 員】

内容については、異議なしで了承をいただく。5月ゴールデンウィーク明けから案内を開始、7月1日締め切りにてアンケートを実施する。

■ 報告事項

1. 作文コンクール募集ツールについて 報告資料1ー①, ②, ③

【事務局】

第28回の募集案内送付文・募集要領・募集方法・応募用紙を確認いただき、内容に過不足ないかを確認いただいた。前回との違いについて説明。

- ・郵送、メール、Googleフォームで応募ができる点を強調した書面。
- ・特にGoogleフォーム応募についての注意点(作品添付の際にはGoogleアカウント要)を説明。
- ・送付状の学校・教育委員会・会員用の違いを説明(違いは配布物の有無)
- ・昨年は小学校の名簿を購入したが、今年は昨年内容から廃校・合併した情報を整理し活用と説明。
- ・送付文に「木ZZの森」の内容を記載すると信書とならないことを委員会に説明。

【委 員】

- ・Googleフォームへのアクセスは「クローム」の方がアクセスしやすい。サファリ・エッジではうまくいかないケースもあるので「クロームを推奨します」の一文を入れては？
 - ・学校用の応募用紙に「応募の理由」を記載しては？一番欲しい情報は「どうして応募したか？」で、作品送付の段階で取れる情報は取った方がいいと思います。
 - ・学校用応募用紙に「メールアドレスの記載」がありません。情報の連絡先のアドレスが取れた方がよいので追加したらどうか？
 - ・送付文に昨年の応募作品数など記載してはどうか？コンクールのボリューム感が伝わるので。
⇒郵便局の信書の審査の関係があるので確認して対応を判断します。
 - ・学校用応募用紙内の応募単位(クラス・学年・学校)は学校の取り組み姿勢を図る物差しで必要。
- ※上記の内容を踏まえて修正して案内を進めることを報告した。

2. 木芽193夏号・台割のご報告 報告資料2

【事務局】

- ・報告資料に基づき、7月22日発刊予定の木芽193夏号の台割を説明。委員に向けて改めて新たな企画のご提案を委員に依頼した。

【委 員】

- ・再来年度のリニューアルに向けての打ち合わせのスケジュールはどんなニュアンスですか？
⇒コンサル会社を交えて企画・構成のたたき台を6月の委員会でお話しできればと思います
⇒委員の皆様には本業の方もお揃いですので、まず1球目の意見を聞いて進めていきましょう。
- ※次回以降も、木芽企画案を募集しながら新たな紙面づくりを模索していく。

3. ホームページ閲覧実績(2024年4月～2025年3月) 報告資料3

【事務局】

資料にもとづき実績説明。順位は

- ・累計では1位:耐火・準耐火 2位:省令準耐火 3位:木住協トップ 4位:木でできているものってどんなもの?木ZZの森
- ・2月単月実績も累計同様。
- ・Googleアナリティクスでの測定も今年度から2年目となり、次月から前年とのデータ比較が可能となる点を説明。

5. 7月4日 外部委員会および万博視察の件 報告資料4

【事務局】

資料に基づき大阪で行う委員会と大阪・関西万博の概要を説明。スケジュール・開催場所の案・宿泊先・入場券についてなど現段階の状況を説明した。

【委員】

- ・万博会場への移動方法は？⇒ホテルと駅が近いので地下鉄での移動を検討しています。
- ・2日目の万博視察の終了時間は？⇒現在、詳細は固めてません。追ってご連絡致します。
- ・催される懇親会の会費関係の記述をお願いします。

※次週(4月7日からの週)に外部委員会および大阪・関西万博視察の出欠確認する旨を報告した。

その他

- ・4月開催のセミナーのご案内と参加の呼びかけ。
- ・村岡委員長から再来年度の住宅税制と住団連・税制アンケートについてお話しいただいた。

※次回、第2回業務・広報委員会は「6月6日(金) 15:00～17:00 6F 木住協会議室にて開催

以 上